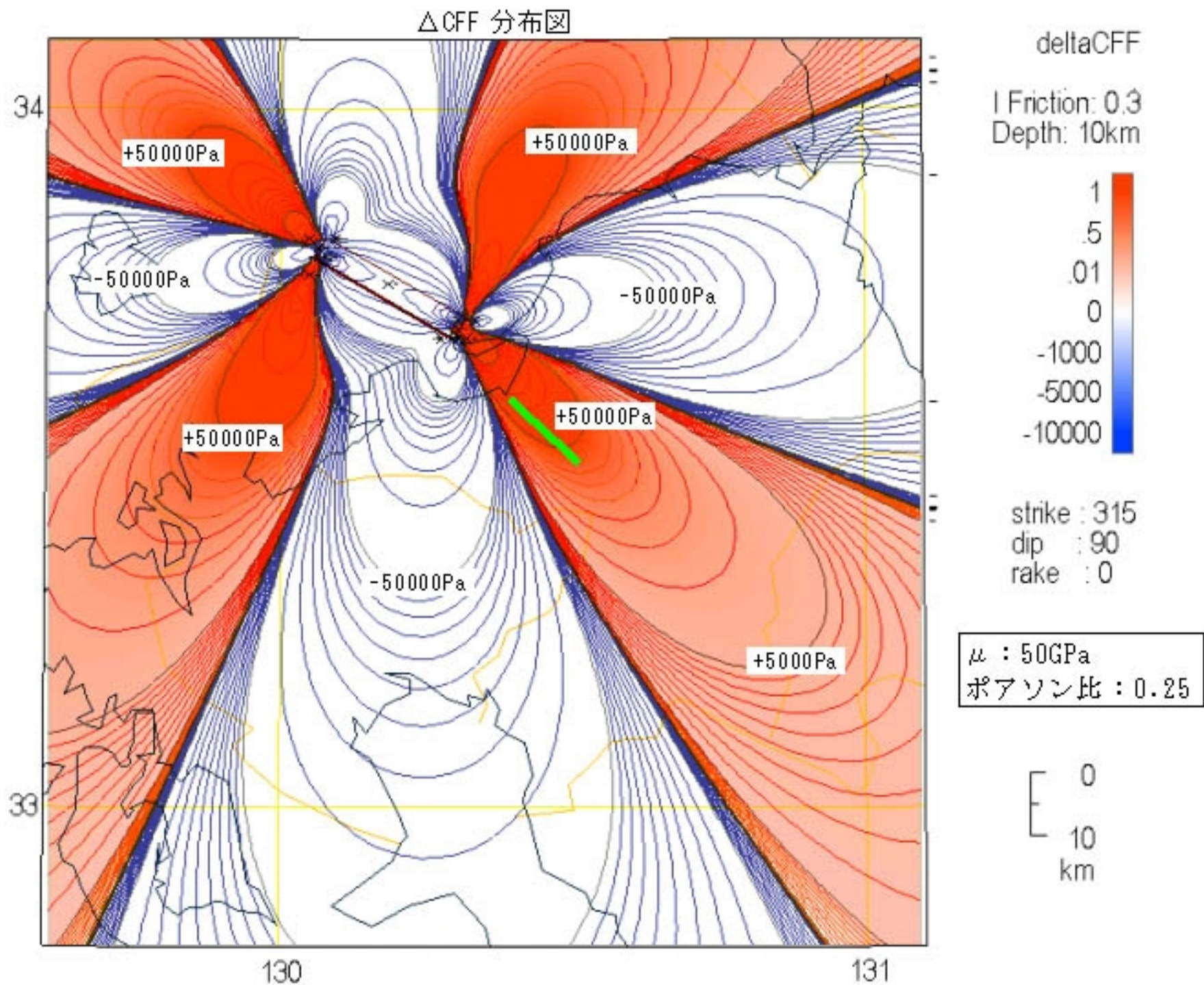


福岡県西方沖の地震 (M7.0) の警固断層に対する ΔCFF



// MICAP-G //

対象：走向 315°、傾斜角 90°、すべり角 0°
 ソース：断層長 25 km、幅 10 km、走向 302°、
 傾斜角 68°、すべり角 -3°
 モーメント量 1.30×10^{19} Nm

2005年3月20日10時53分に福岡県西方沖の深さ9 kmでM7.0(最大震度6弱)の地震が発生した。発震機構は、東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

今回の活動の南東約15 kmには、警固断層(地表トレースを図中に示す。走向315°、傾斜角、90°すべり角0°を仮定)が北西-南東に延びている。

この断層帯に及ぼす影響は、潮汐(1000 Pa)の10~100倍程度である。

